

実践記録(小3・理科)

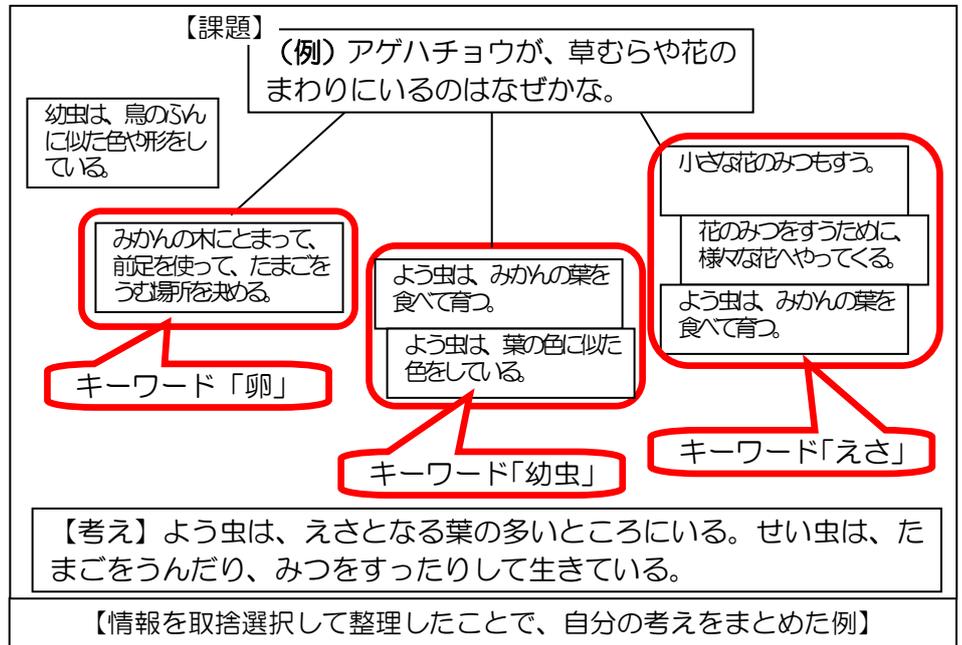
1 ねらい

集めた情報を取捨選択して整理することで、自分の考えをまとめることができる。

2 手立て

以下のような手順で、情報を取捨選択して整理することにより、自分の考えをまとめさせる。

- (1) それぞれの課題に関連する情報を調べ、付箋に書き出す。
- (2) 課題に対する要因となる情報は線で結び、類似の情報はまとめる。
(要因とならない情報は線で結ばずに除けておく。)
- (3) まとめた情報を要約するキーワードを付け、それを基に自分の考えをまとめる。



3 実践の様子

まず、「(身近な生き物)が(その場所)にいるのはなぜかな」という課題に対して、児童は予想を書いた。次に、自分が選んだ生き物の生態について、図書資料を使って調べ、分かった情報を一つずつ付箋に書き出した。そして、集めた情報を取捨選択し整理する活動を行った。自分が選んだ生き物がその場所にいる理由として、要因となる情報を取捨選択した。「〇〇という生き物は△△にいる」ということに対して、要因となる付箋を確認しながら線でつないだ。他の付箋の情報と同じ内容だと思うものは、新しく線は引かず、同じ場所に貼ってまとめ、情報のグループづくりをした。最後に、情報のグループに要約するキーワードを付け、自分の考えをまとめた。

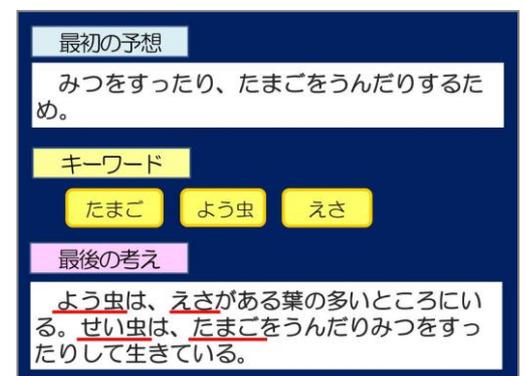
A児は、アゲハチョウについて調べ、集めた情報を取捨選択して整理する活動を行い、「卵」「よう虫」「えさ」というキーワードを付けた。その後、幼虫と成虫とを区別したり、幼虫の生態を付け足したりして、自分の考えをまとめることができた。

4 成果と課題

- 付箋を使って、キーワードで要約したことにより、課題についての自分の考えをまとめることができた。
- 集めた情報を要約したキーワードを考えて付けることが困難な児童が見られた。発達段階に応じた情報を整理してキーワードを付ける視点の与え方に工夫が必要であった。



【付箋を線でつなく様子】



【A児の考えの変容】